

1 開催日 平成 22 年 7 月 28 日（水）

2 委員長開会宣言

3 議事

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 市教委第 34 号 平成 23 年度使用高知地区小学校教科用図書（学校教育法附則第 9 条の規定による一般図書を除く）の採択について（継続審議）

5 出席者

(1) 委員	1 番委員長	野 本 明 美
	2 番委員	西 山 彰 一
	3 番委員	山 本 和 正
	5 番教育長	松 原 和 廣
(2) 事務局	教育次長	依 岡 雅 文
	教育次長	松 井 成 起
	総務課長	弘 田 充 秋
	学校教育課長	片 岡 正 樹
	総務課長補佐	近 森 象 太
	学校教育課学校教育班長	多 田 美 奈 子
	学校教育課学校教育班指導主幹	今 西 和 子
	学校教育課学校教育班指導主事	山 中 浩 介
	学校教育課学校教育班指導主事	岡 本 伸 浩
	学校教育課学校教育班指導主事	武 林 勝 志
	学校教育課学校教育班指導主事	竹 村 晃
	総務課総務係長	小 田 優
	総務課総務係主査	森 尾 美 舗

6 欠席委員

4 番委員 西 森 やよい

1 平成 22 年 7 月 28 日（水） 午前 9 時 00 分～午前 11 時 23 分

（たかじょう庁舎 6 階人事政策室会議室）

2 議事内容

開会 午後 9 時 00 分

委員長

ただいまから，第 1058 回高知市教育委員会 7 月臨時会を開会いたします。

はじめに会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は山本委員さん，お願いいたします。

それでは，議案審査に移ります。本日の議案は 1 件です。日程第 2 市教委第 34 号「平成 23 年度使用高知地区小学校教科用図書（学校教育法附則第 9 条の規定による一般図書を除く）の採択について（継続審議）」の継続審査に入りたいと思います。

なお，採決については，種目ごとに順次，審議し，決定いたしたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員一同

【異議なし】

委員長

それでは，まず国語について，先日の 7 月定例会において説明していただきましたが，事務局案を示していただきながら，再度説明をお願いいたします。

山中学校教育課指導主事

学校教育課の山中でございます。

お手元には，前回配付させていただきました資料 1 から資料 3 まで，そして，教育委員長から事務局案を示していただきたいとのことでしたので，採択協議会からの答申を基に事務局で検討いたしました案を配付させていただいております。

委員の皆様方には前回の定例教育委員会後の学習会等で教科書をご覧いただいていると思います。本日は，国語から説明をさせていただき，1 種ごとに採択をお願いいたします。それでは，国語から始めさせていただきます。

教科書をお配りさせていただきます。国語は，東京書籍，教育出版，光村図書の 3 社が選定されております。事務局としましては，東京書籍を原案としております。各社の特徴につきましては，前回説明をさせていただいておりますので，簡潔に述べさせていただきます。

各社それぞれに特徴・優れている点がございますが，事務局としましては，行間が広く読みやすく，児童が書き込みできるスペースが取られている。物語文では，想像力を働かせる挿絵の工夫もなされている。新出漢字については，該当ページ下にも説明がなされており，児童が家庭で学習を進める際，つかみやすい。巻末に色刷りで新出漢字が分かりやすく示されている等を総合的に判断いたしまして，東京書籍が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。ご検討ください。

委員長

この件に関して，ご意見等をお願いいたします。

委員

光村図書の3年の上の「わかば」で、手紙を書こうというテーマが取り上げられています。これは、非常に実用に即したもので、いい内容という感じを受けたのですが、他の出版社においては、手紙の書き方について教えるといったことを取り上げたものはございますか。

山中学校教育課指導主事

指導の学年や時期は違っていますが、必ず、どの教科書とも手紙の書き方についての指導は入っております。また、国語と関連します書写の中におきましても、手紙の書き方については硬筆、毛筆とも織り交ぜて指導されるようになっていきます。

例えば、東京書籍ですと、3年の上の107ページに、封筒、はがきということで、宛名の書き方から始まって、書き順等の内容が示されております。各社とも指導される時期は違っておりますが、内容は含まれております。

委員

本によって2段組が多い出版社と、ほとんどが1段組の出版社があるのですが、学習障害や発達障害といった子どもたちの見やすさという観点からはどうでしょうか。

山中学校教育課指導主事

児童にとりましては1行で書かれている教科書というのは非常に見やすいと考えられます。2段になると分かりづらいという点はございます。それぞれ各社とも特徴はございますが、児童にとりましては、1段がより分かりやすいと考えます。

委員

行間と字の大きさについてはどうでしょうか。

山中学校教育課指導主事

教科書会社によりまして、その教科書会社独自の文字を使っている出版社がございます。例えば、光村図書は光村教科書体という光村図書の会社の書体が使われています。それから、印刷の濃さや大きさについては、各社とも違いがありますが、光村図書は全体的に文字の大きさが小さくなっております。東京書籍は、大きくなっております。同じ学年の文字の大きさをご覧いただければお分かりいただけるのではないかと思います。

それから、行数につきましては、前回の教育委員会定例会でご説明申し上げましたように、行間が広く取られておりますので、先ほど委員さんがおっしゃられた学習障害等の子どもたちにとりまして、それぞれ見やすい配慮がなされていると考えます。

委員

行間が広く取られるというのは、見やすさだけではないと思いますが、行間を広く取ることでどういう活用ができるのか、その辺りはどうでしょうか。

山中学校教育課指導主事

行間が広く取られているというのは、授業の中で、あるいは家庭学習の中で行間を読む、又は文字と文字の間に秘められている作者や筆者の思いを読んで書き込んでいくという学習において、大変有効であると考えます。今後、子どもたちが家庭の学習の中でも、次の日の学習に備えて、教科書に書き込んで授業に望んでいくという点でも、大変有効であると考えております。

委員

その書き込みというのは、学校の現場において、あるいは家庭学習においても、国語の中で、日常的に行われていることなのですか。

山中学校教育課指導主事

学校現場におきましては、鉛筆だけではなくて、赤鉛筆や青鉛筆等を使いまして、筆者の気持ち、

行動等を色分けしながら、授業を展開していくということが多く行われているのが現状でございます。

委員

各出版社とも、そのページに新しい漢字が出てきたら、その説明があるのですが、出版社によってその表現に特徴があります。子どもたちにとっては、どういうものが分かりやすいのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

新出漢字につきましては、何という読みか、音読みや訓読みを含めて、これまでも日常生活の中に使われている漢字がございますけれども、その点を確認するという意味からは、新しく出てきた漢字が、そのページの下ですぐに確認できるというのが、理解しやすいのではないかと考えます。

委員

東京書籍ですが、巻末に言葉の力として児童に身に付けさせるべき読みの力という点で、はっきりと提示しているのですが、言葉の力というふうに項を起こして、巻末に掲げている意味と違いますか、学習を深めるためにどういう効果や利点があるのかについてお聞かせください。

山中学校教育課指導主事

新学習指導要領におきましては、言語活動の充実ということから、基礎、基本から活用へということが大きく注目されております。先ほどご意見のありました言葉の力ということにつきましては、各単元におきましても、学級で言語活動として指導されるべきものですけれども、今回新たに言葉の力ということが大きく取り上げられ、またそこで指導がなされるという点におきましては、言語活動の充実という意味からも大変有効であると考えております。また、言葉の世界ということで、国語のみならず他の教科にも言葉の力は大変有効に働かなければいけませんので、活用できる内容ではないかと考えております。

委員

3社の中で、高知市の子どもの実態だとか、あるいは子どもに教える上で東京書籍が使いやすいというふうに判断した理由をもう一度言っていただけますか。

山中学校教育課指導主事

一つには、行間が広く、児童が書き込めるスペースがあるということ、二つ目に、想像力をかき立てる挿絵が多く見られる点、三つ目として新出漢字の扱いが児童に大変つかみやすい、四つ目には、巻末に色刷りで同じく新出漢字が掲載されているなど、以上を総合的に判断して、東京書籍の教科書が高知市の子どもたちの実態により適していると考えます。

委員

光村出版なども、巻末に参考図書、教育出版もそうですが、これはいいなと思っておりますけれども、東京書籍には、練習問題の答えの場所が載っています。これは、高知市の子どもが自学自習をする上での手掛かりになるのではないかと思います。他の2社には答えがないということで、子どもたちが自学するうえで、高知市の子どもたちにとってはどうかというのがありますね。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、種目ごとに採択を決定していきたいと思っております。

国語については、事務局案のとおり東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、国語については東京書籍を採択することに決しました。

次に、書写に移ります。事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

書写は、東京書籍、学校図書、光村図書の3社が選定されております。事務局としましては、東京書籍を原案としております。ご説明させていただきます。

まず、1年生の硬筆を取り上げます。うす黄色の付箋のページをお開きください。東京書籍は3ページから5ページまで、学校図書は3、4ページ、光村図書は1ページから4ページまででございます。学校図書は鉛筆の持ち方が分かりやすく説明されております。光村図書は、鉛筆を持ったときの力の入れ加減について、3ページの写真で分かりやすく説明されています。東京書籍は、鉛筆の持ち方について、お箸を例に挙げたり、鉛筆を持ったら三角形になる等の写真も有効に提示したりしながら分かりやすく説明されており、児童がつかみやすいと考えます。

次に、黄緑色の付箋のページをお開きください。筆順の扱いでございます。東京書籍は8、9ページ、学校図書は6、7ページ、光村図書は6、7ページでございます。まず、学校図書と光村図書は同じ色で筆順を示しております。次に、東京書籍をご覧ください。東京書籍は、筆順ごとに色分けされております。また、東京書籍は、20ページ以降に出てくる漢字等にも同様に筆順について色分けがされており、児童が筆順を確認するのに大変見やすくなっております。

続きまして、3年生の教科書で水色の付箋のページをご覧ください。毛筆の入門についてでございます。東京書籍は3ページから5ページまで、学校図書は3ページから6ページまで、光村図書は2ページから5ページまででございます。東京書籍は、見開きで入門期の内容がすっきりと分かりやすくまとめられております。学校図書は、筆の持ち方が見やすく表示されています。光村図書は、筆の持ち方が詳しく表示されるとともに鉛筆の持ち方との違いが示されております。また、東京書籍と光村図書につきましては、使いました紙のしまい方についても触れられています。

次に、各社別の特徴でございますが、ピンク色の付箋で示しております。東京書籍は6年生の30ページをご覧ください。新学習指導要領におきましては、日本の伝統文化を大切にすることが改訂の大きな特徴となっております。文字の話ということで、6年生の教科書には、これまでの先人の書かれた手紙が載せられております。その中には、坂本龍馬の手紙も載せられております。また、東京書籍の各学年の巻末に、文字の話として資料が掲載されており、児童が家庭でも興味を持って読み進められる内容となっております。

次に、学校図書の特徴についてご説明させていただきます。1年生の6ページをご覧ください。ひらがなを4つの枠で書きやすい工夫がなされております。これは、各社とも最初は4つの枠でバランスを、ということですが、学校図書は各学年におきまして文字のバランスを大切にしている指導が重要視されております。

最後になりますが、光村出版の特徴についてご説明させていただきます。6年生の8ページをご覧ください。「小筆で書いてみよう」という学習内容が、他社とは違って載せられていることが特徴として挙げられます。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、説明の分かりやすさ、筆順の説明等を総合的に判断いたしまして、東京書籍が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

ご検討いただきたいと思います。

委員長

書写に関して、ご意見ををお願いします。

委員

東京書籍は、1年間の自分の文字の変容が分かるということですが、教科書では、具体的にどういうところかを教えていただけますか。

山中学校教育課指導主事

東京書籍におきましては、学年始め又は1年間の学習を振り返って、自分の名前を書いてみようという項目がございます。それで、学習の成果を自分で確認できるということが触れられております。また、他社におきまして、最初のページに出版社ごとに特徴がございます。振り返り、確認という意味で、最初のところにそういった項目が設けられております。なお、東京書籍におきましては、自分の名前を振り返ってみようというのが大きな特徴かと考えております。

委員

1年生ということで、初めて文字を習うということに限定しての質問ですが、3社を見比べたとき、東京書籍は、鉛筆の持ちかたも原寸大になっているのではないかという気がしますし、字を書く姿勢に関しても「あし・ぺた・ぴん・ぷん」というように語呂合わせで、子どもが文字を書くときの姿勢の大事さというのが、適切に書かれている感じがします。3社とも同じことを書いているのですが、この中で、東京書籍が高知市の小学1年生の実態にあっているというのは、こういった点が挙げられるのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

教科書が大きくなった、また見開きで使われているという点が特徴ですが、特に1年生の子どもたちにとりましては視覚に訴えることが非常に重要であると考えます。その点におきまして、お箸のことを申しましたが、子どもたちの身近にあるものを例に挙げながら、鉛筆の持ち方の確認ができるというのは、大変素晴らしいものと考えます。また、右手、左手の置きかたが、上からの写真で大きく撮られていますので、その点では、右手だけでなく左手の位置にまで触れられている点が大きな特徴ではないかと考えます。

委員

特に書写で大事なところだと思えますけれども、書くときの姿勢に対して、どの程度の重さを置かれているかをお聞かせいただけますか。

山中学校教育課指導主事

東京書籍は、2文字で理解しやすい。他の2社は、「拳一つ分くらいの大きさ」ということが書かれています。また、東京書籍につきまして、スペースについては触れられておりませんが、2年生の教科書におきまして、詳しく、同じ姿勢の内容が触れられております。各学校におきましては、姿勢につきまして、おへそのところは拳一つ分空けるということ、子どもたちには教科書に載っている、載っていないにかかわらず、初期の段階で指導しているというのが現状でございます。

委員

幼稚園なんかでも、お箸の使い方をきちんとしないと、鉛筆が正しく持てないという指導をしています。このことは他の教科書にはないですね。

委員

鉛筆を持つ動作というのは、お箸を持つ動作と変わらないというのは、良い視点だと思いますね。鉛筆の使い方と箸の使い方の連動というのは。

委員

光村図書の非常によい点として、6年生の段階で行書まではなかなか行かないともいますが、やがては習うであろう行書にまで発展ページとして、子どもたちの興味や関心を高めているというのは非常に良い点であると思います。そこは、どうですか。

山中学校教育課指導主事

行書のこと、また中学校へのつながりという点では、光村図書に特徴的に表れていると思います。小学校におきましては、字を正確に書くというのが、非常に重要視された指導がされておりますので、

あくまでそれは発展的ということで、6年生の最後に掲載されております。ただ、特徴的な点ではあると思います。

委員

将来、中学校になって文字を書くことに対する興味、関心という面から考えたとき、また、学習の発展として見たときにも、非常に大事な記述であろうと思いますし、教科書はそうあってほしいという思いがあります。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

書写については、事務局案のとおり東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、書写については東京書籍を採択することに決しました。

次に、社会科について、事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

社会科は、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社が選定されております。選定された3社ともワイド版ということで、これまでの教科書よりも少し大きくなっております。事務局としましては、教育出版を原案としております。ご説明させていただきます。

黄緑色の付箋のページをお開きください。5年生の水産業の扱いでございます。東京書籍は68、69ページ、教育出版は72、73ページ、日本文教出版は78ページから81ページまででございます。まず、東京書籍をご覧ください。カツオをもとに学習を進める形をとっております。日本文教出版では、児童の食生活から漁業に関する学習に入るように配慮されております。教育出版では、児童の食卓にあがることのある魚の名前を実際に教科書に書き込む工夫や、73ページには学びの手引きが示されるなど、児童が興味、関心、意欲を持って学習に入ることができるように配慮されております。

次に、6年生の教科書で水色の付箋のページをご覧ください。自由民権運動についての記述でございます。東京書籍は108、109ページ、教育出版は98、99ページ、日本文教出版は97、98ページでございます。東京書籍は、これまでの教科書と同様の説明がされております。日本文教出版は、板垣退助と伊藤博文の考えの違いを比べながら自由民権運動について記述されております。教育出版は自由民権運動の弁士や取り締まる警官に吹き出しを考えて書く取り組みがあるとともに、高知県の女性参政権運動の楠瀬喜多についても触れられております。このことは、児童が興味を持ち学習に取り組むことができるとともに、地域学習にも生かせることができるものと考えます。

次に、各社別の特徴でございますが、ピンク色の付箋で示しております。東京書籍の5年の下77ページをお開きください。東京書籍は、必要な箇所に「言葉コーナー」を設け、言葉を大切に作る工夫がなされております。次に、教育出版の5年の下の30ページをお開きください。教育出版の特徴は、「確かめ考える」ということで、自ら書き込めるスペースがどの学年にも多く取られています。日本文教出版は、5年の下の59ページをお開きください。日本文教出版は、発展的な学習に対応できるように「大きくジャンプ」というコーナーが設けられております。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、児童自らが学習内容を教科書に書き込みながら興味を持ち学べる工夫、また、女性参政権運動の記述等を総合的に判断いたしまして、教育出版が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。ご検討いただきたいと思います。

委員長

社会科に関して、ご意見をお願いします。

委員

やはり、高知県の子どもは、高知に関連した事柄が書かれていることで、意欲がずいぶん違ってくるのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

子どもたちは、自分たちの知っている事柄、例えば、第四小学校の児童であれば、学校の前に楠瀬喜多の碑がございますので、知っていることが教科書に出ているということについて、大変興味を持ちますので、それぞれの地域での地域学習に有効に活用できると思います。

委員

地域学習についての事柄ですが、以前、「こうちのくらし」という副読本がありました。地域の歴史や郷土の文化を深く紹介するものでしたが、今でもあるのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

今もございます。3、4年生において、重点的に使われております。

委員

そこで扱っているのであれば、必ずしも教科書への掲載にこだわらなくてもいいように思うのですがいかがですか。

山中学校教育課指導主事

まず、教科書の流れで申しますと、自由民権ということで、楠瀬喜多さんを例にいたしますと、自由民権の中で女性の参政権という政治的な学習についても触れられている中で、地域の方を取り上げられているというのは、大変重要なことであると考えます。

委員

「こうちのくらし」は、歴史というよりも、むしろ生活のことが中心ですね。小学校3、4年生でやるものですから、そういったことが中心になるわけです。歴史の中で、女性の参政権の問題をここで掲げることは画期的なことだと思うのですね。自由民権運動というのは、板垣退助が、といったことが一般的な記述になりますが、この中に、楠瀬喜多さんのこと、女性参政権のことが触れられているという意義は非常に大きいのではないかと考えますね。

委員

3種選定の資料の中に、教育出版以外の2社は、副読本と一致しているということが書かれていますが、教育出版にはそういう記述が見られないのですが、副読本と一致していないのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

その点については、調査研究委員会や、採択協議会においても、事務局で確認しておりますが、一致しているということでございます。ただ、一致していること以上に、報告書にありますように他の点が優れているので、そのことを重点的に、ここに記述しているという報告を受けております。

委員

教育出版の特色として、吹き出しということがありましたが、今現在、教育出版を使っていますね。

山中学校教育課指導主事

そのとおりでございます。

委員

現在使っている教科書にも吹き出しはあるのですか。

山中学校教育課指導主事

吹き出しはございません。箇所によっては、使われているところもございますが、これほど多くい

ろいろな箇所，例えば水産業であるとか，自由民権であるとかに使われてはおりません。児童が書き込めるように工夫した箇所がより多くなったというのが，教育出版の特徴でございます。

委員

例えば，先生が，吹き出しを使って授業をしたこともあったと思うのですが，そのときの児童の授業に対する興味，関心などの反応はいかがでしたか。

山中学校教育課指導主事

やはり，歴史というのは，資料や教科書を使って過去のことを聞くということになりがちなのですが，児童が主体的に学習に取り組める，吹き出しが多くありますと，この吹き出しに入るのは，一体どういう言葉なのかということについて児童の意見がたくさん出てきますので，授業の活性化ができます。

委員

例えば，98 ページの吹き出しの中など，観客が大きな口を開けて何か言おうとしている挿絵があるのですが，教員としては，これに対して子どもは，どういうこと言葉を入れると予想されますか。警察官の圧力に対しての言葉なのですか。

山中学校教育課指導主事

「止めるな」ですとか，土佐弁で言いますと「やめろやぁ」など，いろいろな言葉が出てきますので，子どもたちは自由民権運動を取り締まる側への不満と言いますか，そういったものが多く出されます。

委員

そういった言葉を吹き出しを使って，子どもたちの興味，関心を高められることによって，授業そのものが深められるというふうに考えていいのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

そのとおりでございます。

委員

今回のようにワイド版になったのは初めてですか。

山中学校教育課指導主事

そのとおりでございます。

委員

6年生の近代史の中で，船中八策，薩長同盟など新しい政治の枠組みをつくった坂本龍馬の逸話について，各出版社はどのような記述になっているのですか。教育出版の場合は，91 ページに幕末の人物のつながり調べということで，勝海舟ですとか，後藤象二郎あるいは西郷隆盛，高杉晋作など，長州，薩摩などが書かれているわけですが，おそらく各社ともにあると思いますが，こういうものがあると子どもも興味を持って取り組むのではないかと思いますのですがいかがでしょうか。

山中学校教育課指導主事

それぞれ各社とも工夫を凝らした記述がなされております。お話にあったように人物のつながりについて書かれているもの，また日本文教出版におきましては，各地域で活躍した人物の写真を入れたり取り扱うなどの記述が見られます。

また，これまでの教科書と大きく変わっておりますのは，先ほどのように人物のつながりが示されているというのは，ワイド版になったこともあり，写真や図が多く使われているということで，児童の理解につながるのではないかと考えております。

委員

坂本龍馬の漢字の標記についてですが，「龍馬」と「竜馬」というように，標記が出版社によって

異なっていますが、これはどのように捉えられていますか。

山中学校教育課指導主事

間違いを言うといけませんので、ここでは差し控えます。

委員

本人が書いた手紙には、「竜」の文字を使っていますね。

委員

少し気になったことなのですが、日本文教出版の5年の下の67ページですが、「全日空のシステム障害」という記述がありますが、こういった企業名というものが教科書に出て良いものなのかどうか、疑問に思うのですがいかがですか。一企業の記録が教科書に出るということは、選定することはどうかという点で、意見として申し上げさせていただきます。

山中学校教育課指導主事

記事の内容が記載されているということですが、事務局としましては、文部科学省の検定を通過しておりますので、不適切なものはないという考えで選定を行ってまいりましたが、確かに配慮すべき点は、各社ともにあるかとも思いますが、検定を通過しているという観点で調査、研究を行ってまいりました。

委員長

高知の子どもたちが、意欲を持って学習できるという点から、吹き出し、また高知の楠瀬喜多さんが取り上げられるなど、教育出版が原案とされていますが、いかがいたしましょうか。

委員

表紙ですが、一般の書物の場合には、「この表紙は何々です」といった説明があるのですが、教科書にはないものなののでしょうか。

山中学校教育課指導主事

出版社によって違います。表紙の裏面などに記載があることがあります、会社によって記載があるものとないものがあります。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

社会科については、事務局案のとおり教育出版を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、社会科については教育出版を採択することに決しました。

次に、地図について、事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

地図は、東京書籍、帝国書院の2社のみとなっております、この2社ともが選定されております。事務局としましては、帝国書院を原案としております。ご説明させていただきます。

まず、四国地方の表示について取り上げます。青色の付箋のページをお開きください。東京書籍は9、10ページ、帝国書院は25、26ページでございます。東京書籍は、四国地方を含めたより広い範囲で四国地方を示し、四国地方の位置付けが分かる工夫がされております。帝国書院は、東京書籍より大きく四国地方が示されておまして、高知県についても詳しく示されていることが特徴となっております。また、高知県の野菜の送り先についても、見開きのページの下側に資料が掲載されております。

同じページをご覧いただきたいと思います。東京書籍については、凡例、市街地の色や地図の高低が示されておりませんが、帝国書院には、地図の見方における情報である凡例が示されている点が特徴となっております。

次に、外国の扱いでございます。地図帳の後半をお開きください。薄い黄色の付箋がついたページです。東京書籍は55、56ページ、帝国書院は57ページから60ページまででございます。まず東京書籍をご覧ください。アフリカやヨーロッパなどについて、写真も差し込みながらそれぞれ1ページで紹介されています。帝国書院では、見開き2ページを使ってアフリカやヨーロッパについて表示がなされておりまして、ヨーロッパの国々の国名についても細かく書かれていて、児童が見やすい配慮がなされています。

また、ピンク色の各社の特徴でございます。日本のページをお開きください。印象的なのは、日本の都道府県が示されています。帝国書院は、児童がつかみにくい日本の周りの国との位置関係がすぐ見られる工夫がなされています。東京書籍は、都道府県の境と地形が示されているのが特徴となっております。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、情報の読み取りやすさなどを総合的に判断いたしまして、帝国書院が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

委員長

地図に関して、ご意見ををお願いします。

委員

地図の見方と申しますか、凡例が各ページにないと確かに不便ですね。

あと、宇宙から眺めた日本列島というのはいいですね。

委員

地図というのは、普通の教科書とは違って、6年生で使うといった学年を限定して使用するのではなくて、複数年で使うものです。例えば、何かの学習のときにも見て確かめるといことがあると思うのです。だから、発達段階が違う子どもが見るといことを前提にした構成にならないといけないのだと思うのですが、その点はいかがですか。例えば、原案にある帝国書院はどういう工夫がされているのか、ちょっと教えてください。

山中学校教育課指導主事

地図帳は、小学校4年生から6年生までの3年間使用するというので、4年生になったときに配付されます。1年おきに情報も変わってまいりますので、出版社から新しい情報が提供されるようになっていきます。一番大切なのは、いつでも使えるということで、よく学校現場におきましては、地図帳は学校に置いておいて、社会科だけでなく国語や総合的な学習等で、人物を追う学習ですとか、広く理解できるようさまざまな場面で地図帳が活用されているのが現状でございます。本市の子どもたちにとって見やすく、情報が得やすいという点を考えますと、先ほど申しましたように国名が詳しく述べられているなど、事務局としましては帝国書院を原案とさせていただいております

委員

複数年にわたって使われる地図というものは、見やすい、また情報が的確に地図に示されているという情報の内容などを、採択の基準にした方がいいということですか。

山中学校教育課指導主事

そのとおりでございます。

それから、先ほどからお話していますように、子どもたちは一見して分かるということが大切でございます。凡例についても、振り返り振り返りということではなしに、そのページの情報のつかみやすさという点も考慮しています。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

地図については、事務局案のとおり帝国書院を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、地図については帝国書院を採択することに決しました。

次に、算数について、事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

算数は、東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館の3社が選定されております。事務局としましては、東京書籍を原案としております。ご説明させていただきます。

基本的な計算ということで、2年生のたし算の問題演習を取り上げてご説明いたします。うすい黄色の付箋のページをお開きください。東京書籍は2年の上の21ページ、学校図書は2年の上の48ページ、新興出版社啓林館は2年の上の26ページでございます。東京書籍は「しあげのもんだい」、学校図書は「れんしゅう」、新興出版社啓林館は「たしかめ道場」として、各社が学習の定着に必要な反復練習のためのページを設けています。学校図書は、今ご説明しましたページ以外にも56、57ページにございますように、「力だめし」として、さらに問題演習の内容を取り入れております。東京書籍につきましては、20ページの「力をつけるもんだい」の設定に加えまして、14ページから17ページまでをご覧くださいとお分かりいただけますように学習内容に応じた問題が随所に取り入れられております。このことは、計算力の向上に適した内容となっていると言えます。

続いて、3年生の黄緑色の付箋のページをご覧ください。こちらは、児童が思考を深め、考えをまとめていくノートの書き方についての扱いでございます。これまでは、このようなページは設定されておりましたが、子どもたちが家庭学習で自らがノートにまとめていくという点におきまして、今回、各社が特徴的に挙げている項目でございます。東京書籍は3年の下28、29ページ、学校図書は3年の下43ページ、新興出版社啓林館は3年の上29ページでございます。各社とも、ノートに書く内容や実際の記入例などを、写真や図を効果的に利用して説明をしております。学校図書は半ページ、新興出版社啓林館は1ページを使って記述すべき内容等を簡潔にまとめています。東京書籍は2ページにわたりまして、児童が実際に使用しています方眼ノートの写真を用いて具体的な内容が記されております。このことは、児童が家庭学習を進める際にも有効であると考えます。

次に各社の特徴でございますが、ピンク色の付箋で示しております。東京書籍の2年の下9ページをご覧ください。東京書籍は、具体物と対応させ学習を進めていく活動を多くとりいれている点が大きな特徴となっております。学校図書は、6年生の下の分冊で、小学校の学習の振り返りということで、中学校の学習に興味、関心が持てるように、別冊が付いているというのが大きな特徴でございます。新興出版社啓林館は、6年の上26ページにもございますが、反復学習ができるような問題の配列となっているのが大きな特徴でございます。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、写真や図を効果的に利用して学習を進めていく活動を多くとりいれている点や計算力等の基礎学力の向上に向けた内容等を総合的に判断いたしまして、東京書籍が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

委員長

ご意見をお願いします。

委員

東京書籍は、筆算のときにマス目がありますね。また、ノートを使い方にもマス目があるのですが、それは子どもたちにとってどういう効果があるのですか。

山中学校教育課指導主事

学校現場におきまして、最初は筆算の書き方を教える際には、マス目の入った黒板等を利用して行っております。ただ、学校で学んでも、家に帰ったときに忘れてしまう子どもたちが実際にます。家に帰っても振り返ることができるということで、マス目があるというのは、大変有効であると考えます。さらにノートについても、実際には方眼ノートが使われていますので、児童にとってもより有効かと考えます。

委員

1列の行が取りづらい学習障害の児童にとっては、そういったマス目があるほうが、見やすく、分かりやすいのではないかと思います。

委員

算数の3年生の下のノートの作り方のところで、東京書籍はマス目を使って、きれいに書き込んでいくことを学ぶことができるという点では、非常にいい点だと思います。あと、学校図書、新興出版社啓林館は、感想という点で、非常に簡潔に捉えることができ、分かりやすい印象を受けました。その点で、東京書籍は、「分かったこと」や「次に考えてみたいこと」、「友達の考えを聞いてみたいこと」ということが書かれているのですが、それを自分のものにするのに時間がかかるのではないかと印象を受けました。実際に授業されるときは、他の教科社に書かれているように、「分かったこと」、「面白かったこと」という指導の方が、子どもにとっては分かりやすいのではないかと。おとなが見たときにも、「次に考えてみたいこと」というのを聞かれたときに、しばらく時間がかかるのではないのでしょうか。「面白かったこと」というのを聞かれたら、わりとすぐに書けるのではないかと。思うので、その点をご配慮いただけたらいいのではないかと思います。

委員

紙質がそれぞれ違うのですが、東京書籍のほうが白くて見やすいという印象を受けたのですが、その点はいかがですか。

山中学校教育課指導主事

先の定例会で学校教育課長がご説明いたしましたように、教科書の内容が多少増えているという関係から、紙質が薄くなっております。紙の質、色は、各社の特徴ということで捉えていただきたいと考えます。

委員

各社の特色があって、すごく工夫されていると思うのですが、特に東京書籍の場合、子どもたちが算数以外の話に興味を持てるように、「算数の話」というものを随所に入れていきますし、「算数を使ってやってみよう」だとか、「計算腕試し」、「おぼえているかな」といったように、子どもに関心を持たせ、それを意欲的にやらせるための構成になっている気がします。他の出版社にも、そういった工夫はされていますが、そういうふうなことは、3種選定の場合の基準として大きな比重を占めているかどうか、少しお教えください。

山中学校教育課指導主事

今回の調査研究項目で申しますと大きな項目の3番目に書いてございますが、大変ウエートが大きい項目でございます。各社とも、新学習指導要領に則っているということで、大きな方針の一番目に、多様な見方ができるような工夫がされており、多様なところから児童へアプローチしているという点におきましては、調査研究委員会や採択協議会におきましても大きなウエートが占められております。

委員

学校図書の場合で特徴的なのは、算数は答えへの到達までの間に、いろいろな考え方があり、そうした多様な考えというものをすごく大事な視点として取り扱っている構成となっていることに感心させられたのですが、そういうことは大事な視点だと私は思います。

委員

いろいろな特徴的な点がありますが、総合的に見たときに、東京書籍が高知の子どもが意欲をもって取り組める教科書ということと理解しています。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

算数については、事務局案のとおり東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、算数については東京書籍を採択することに決しました。

次に、理科について、事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

理科は、5社のうちから東京書籍、大日本図書、学校図書の3社が選定されております。事務局としましては、大日本図書を原案としております。ご説明させていただきます。

3年生のモンシロチョウの育て方について、各社の共通な扱いがございますので、ご覧いただきたいと思います。うすい黄色の付箋のページをお開きください。東京書籍は3年生の20ページから25ページまで、大日本図書は3年生の18ページから21ページまで、学校図書は3年生の42ページから45ページまででございます。各社とも写真を多く取り入れております。東京書籍は、見開きページにコンパクトにまとめられておりまして、はさみ込みのページで補足説明や学習のポイントが説明されております。学校図書は、大きく鮮明な写真を大胆に配置しておりまして、観察する幼虫の様子と比較しやすくなっております。大日本図書につきましては、4ページに渡る見開きを効果的に使用しまして、成長の過程が順を追っていきなり分かりやすい構成となっております。また、それぞれの段階における観察や記録の仕方が適宜、示されるなど、子どもの主体的な活動できるよう細かな配慮と工夫がなされております。また、56ページには、「理科の玉手箱」ということで本県出身の牧野富太郎さんが取り上げられておりまして、高知市の児童が関心を持つことができる資料を載せています。

次に、胎児の成長について取り上げます。黄緑の付箋のページをお開きください。東京書籍は5年生の98ページから105ページまで、大日本図書は5年 - 1の58ページから65ページまで、学校図書は112ページから119ページまでです。東京書籍は見開きページを使い、胎児の成長の過程が一行に大きく示されておりまして、理解しやすい構成となっております。また、実際の胎児の大きさについても示されておりまして、学校図書も見開きページを使い、胎児の成長の姿が見やすく示されておりまして、大日本図書は、受精卵や成長する胎児の実際の大きさと重さをイメージさせる工夫や、63ページの「やってみよう」というコーナーで算数の既習事項を取り入れた学習事例も示されており、教科の関連性を生かした特色ある内容となっております。

各社の特徴につきましては、先ほどお話いたしましたように、東京書籍が実物大の図等が効果的に配置されている点、大日本図書は、牧野富太郎氏に触れられていることや、4年から6年までの各学年が2冊の分冊となっている点で、他の教科書よりも薄く、持ち運びしやすいということが特徴となっております。学校図書は、各学年の最終ページに実験レポートの書き方や、器具の扱い方をまとめて示

されている点などが特徴となっております。

以上のように、各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、「研究・観察」に関する説明が丁寧で分かりやすい点、写真や図を効果的に利用して興味を引く工夫が多い点等を総合的に判断いたしまして、大日本図書が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

委員長

この件に関して、質疑等はございませんか。

委員

1冊になっている教科書と2冊に分冊された教科書では、ランドセルに入れて持ち帰る子どもの負担が違ってくると思うのですが、その辺りはいかがでしょうか。

山中学校教育課指導主事

それぞれ考え方があろうと思います。1冊のメリットとしては、学習が必要なときに1年間いつでも見られるということがメリットになりますが、一方では、重くなるということがデメリットとして挙げられます。分冊になっていることは、先ほど委員さんがおっしゃったとおり持ち運びがしやすいという点、また高知市の小学校では、理科室へ移動したり、教科書を外へ持ち出したりの観察や実験が大変多くなっております。その点がメリットになるであろうと思われま

委員

星座のところでは、大日本は透明シートがあるのですが、そういうものは子どもたちにどう効果的に使われているのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

補助教材を使用しなくても、また教科書の中の資料によって、すぐ観察日誌ができるという点が挙げられます。また、家庭に持ち帰ってもそれが活用できるというメリットがあるかと思われま

委員

感想になりますが、大日本図書の場合、巻末に挿絵や写真の提供者が明記されている点ですね、非常に良いことだと思います。

委員

小学校では、理科の授業というのを、好きな子どもが多いのでしょうか、それとも嫌いだという子どもが多いのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

実験があるときには、子どもたちは喜んで参加します。ただ、実験において、危険な液体を扱う学習等になりますと、危ないということで、机から少し距離を取るといった行動を取る児童も中にはおりますが、実験や観察などの新しい知識が習得できるということで、興味深く学習に取り組んでいると思われま

委員

中学校の理科との連携といった点はどうですか。

学校教育課学校教育班長

中学校になると、概念的なものが出てきますので、小学校の段階で、興味、関心を持って取り組まれていることが大切だと思います。

委員

実験、観察というのが、理科教育の基本ということになるのでしょうか。

学校教育課学校教育班長

最も大切なことだと思います。常に日常生活に戻していけるということも必要なことだと考えま

委員

高知市でも星座が見えなくなってきましたが、大日本図書にあるようなシートを付けることで、「そなんだ」というような気付きが、家に帰ってから確かめができるというのが他にはない特色だと思います。

委員

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

理科については、事務局案のとおり大日本図書を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、理科については大日本図書を採択することに決しました。

次に、生活について、事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

生活は、7社のうち、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社が選定されております。事務局としましては、東京書籍を原案としております。なお、生活科につきましては、1・2年生で扱う教科となっております。ご説明させていただきます。

まず、生活科について、調査研究の大きな柱になることをご説明させていただきます。生活科というのは、気付きを高めるということでございますので、文字、写真あるいは絵などからどれだけ子どもたちが気付きを持てるかということが、調査研究委員会や採択協議会での大きな議論となりましたので、その点からご覧いただきたいと思っております。

まず、夏の季節における扱いを取り上げます。うすい黄色の付箋のページをお開きください。東京書籍は上巻48、49ページまで、教育出版は上巻36、37ページ、日本文教出版は上巻46、47ページでございます。2社が写真、1社が絵ということになっています。教育出版は、「なつともだち」という写真で子どもたちの気づきを促そうとしています。日本文教出版も、写真で季節の移り変わりを示しています。東京書籍は、「なつのえほん」という見開きになっております。この絵は大変インパクトが強く、たくさんの工夫がされておりまして、この絵を見て、子どもたちが外に出て夏の自然を楽しんでみたい、夏の遊びをやってみたいという気持ちにさせるような構成となっております。

次に、黄緑色の付箋のページをお開きください。野菜の収穫についての各社の扱いでございます。東京書籍は下巻17ページ、教育出版は下巻25ページ、日本文教出版は下巻95ページでございます。教育出版は、野菜の収穫までの様子を写真でたどることができます。日本文教出版では、野菜ごよみとして収穫までの流れが示されております。最後に東京書籍をご覧ください。ここでは、継続的に野菜の栽培を行い、その過程で気付いたことをカードに記録していくことで更に学びを深めるための工夫がされています。

続きまして、各社別の特徴でございますが、ピンクの付箋で示しております。まず、東京書籍でございますが、ワイド版でゆったりと写真等がレイアウトされていることが大きな特徴となっております。他社と比べまして、絵が大変多くなっておりまして、子どもたちに想像させる工夫がなされているのが特徴でございます。教育出版は、上巻の67ページのように、自分ができる家の仕事に挑戦してみたいような資料の提示がされています。日本文教出版では、上巻58、59ページに見開きで子どもたちの楽しそうな活動の様子を紹介し、学習意欲を喚起しようとしています。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、先ほどご説明させていただいた「気付きの質を高める」という工夫や、ワイド版で大きく写真や図が示されている点等を総合

的に判断いたしまして、東京書籍が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

委員長

この件に関して、質疑等はありませんか。

委員

東京書籍の「なつのえほん」というのは、他社と比べて圧倒的なインパクトがあり、子どもの興味、関心がわくような絵ですね。

委員

東京書籍は、子どもたちを主人公にした1学期の写真というのがあるのですが、その中に車椅子の子どもさんの写真がありますね。ほかの出版社も帰国子女が生活している図などがありますけれども、車椅子でも自然に子どもたちに解けあっているということに、非常に好感が持てました。それから、遊んだあとには「手を洗おう」というのがあって優しい感じがしました。人とのかわりを大事にしたい、また障害者、外国の方などとのかわりなども大事な視点であると思いました。

委員

見やすさからいうと、やはりワイド版というのは見やすいですね。

委員長

ほかにご意見はありませんか。

特にないようですので、採決いたします。

生活については、事務局案のとおり東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、生活については東京書籍を採択することに決しました。

次に、音楽について、事務局の説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

音楽は、東京書籍、教育出版、教育芸術社の3社のみが発行しております。この3社ともが選定されております。事務局としましては、教育出版を原案としております。ご説明させていただきます。

まず、教科書を開く前に見ていただくとお分かりになると思いますが、教育出版、教育芸術社の2社はワイド版となっております。ワイド版になりますと、オルガンや、机で開いてリコーダーなど、折り目をつけなくても見られるというメリットが、調査研究委員会や採択協議会からご意見として上がってきております。

次に、1年生の鍵盤ハーモニカの導入を取り上げます。黄色の付箋のページをお開きください。東京書籍は24ページから27ページまで、教育出版は32ページから37ページまで、教育芸術社は28ページから31ページまででございます。それぞれ、3社を見比べながらご覧いただきたいと思えます。東京書籍は、二つの山、三つの山というように黒鍵の位置も示しながら説明しています。教育芸術社は、キャラクターを使って、ドングリの「ド」、ソラマメの「ソ」というように、ドの位置やソの位置を児童が理解しやすいように工夫がなされております。教育出版は実物大の写真を示しながら説明がなされております。32ページから37ページまでの間、どのページを開けても学習する音階や指使いが一目で分かるような構成となっており、児童がスムーズに学習に取り組めるような配慮がなされております。更に、立って吹く、座って吹く姿勢ともが示されております。

次に、黄緑色の付箋のページをお開きください。6年生の「おぼろ月夜」の扱いでございます。東京書籍は4、5ページ、教育出版は6ページから9ページまで、教育芸術社は8、9ページでございます。東京書籍は、作詞者の説明が書かれております。教育芸術社は、おぼろ月夜ということについて

での説明がなされております。教育出版は、最初の2ページで大きく写真と歌詞を入れ、イメージを膨らませる工夫がなされております。さらに、9ページには、作詞者と作曲家、また、これまでに児童が学習してきた曲についても振り返る工夫がなされております。

共通教材としまして、6年生の教科書で青色の付箋のページをご覧ください。「われは海の子」の扱いでございます。東京書籍は14、15ページ、教育出版は20ページから23ページまで、教育芸術社は16、17ページでございます。教育出版・教育芸術社は桂浜が写真で示されており、高知市の児童にとっては親近感を持ち学習が進められる工夫がなされております。

次に、各社別の特徴でございますが、ピンク色の付箋で示しております。まず、東京書籍は4年生の16ページでございます。東京書籍は、学習の流れが分かる構成となっております。教育出版は、4年生の23ページをお開きください。教育出版では、新しく学ぶ記号等は、見開き右側に分かりやすく表示しているのが特徴になります。教育芸術社は、4年生の51ページをお開きください。子どもたちは、どの学年ともに演奏順序に戸惑うものですが、教育芸術社は、演奏順序を色分けして分かりやすくしている点が特徴となっております。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、鍵盤ハーモニカの学習における配慮、大きく写真や歌詞を入れ、イメージを膨らませる工夫がなされている点等、総合的に判断いたしまして、教育出版が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

委員

教育出版は、バックの色がカラーで、そして字が白や黒というのが非常に多い感じがするのですが、色覚に配慮がいる子どもたちにとって見づらいということはないでしょうか

山中学校教育課指導主事

教育出版については、見開きの写真を取り入れております。そこでイメージを湧かせて、次のページでお分かりになるかと思いますが、そこでもまた再度、通常の楽譜や歌詞が出てきております。最初は言葉でイメージを湧かせ、次に学習へ入っていくというふうな工夫がなされているのが特徴でございます。桂浜の写真で申しますと、児童にとって、白抜き字が雲の白の色と似通っているという点で多少見づらい点はあるかと思いますが、高知市の児童にとっては、「桂浜が写っている」という点が興味を引くものになるかと思えます。

また、各社とも理科の報告書にもございましたが、カラー・ユニバーサル・デザインというものが採用されております。特に色弱の方が日本に500万人いると言われておりますが、このカラー・ユニバーサル・デザインというのは、その方々に配慮して、どの出版社とも色のバランスに配慮した形になっております。カラー・ユニバーサル・デザインでは、特に赤色やオレンジ系が見えにくいという子どもたちに対して配慮がなされているということで、今回につきましては、青色、水色ですので、それほど影響はないものと考えます。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

音楽については、事務局案のとおり教育出版を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、音楽については教育出版を採択することに決しました。

次に、図画工作、家庭科、保健は一括して説明をお願いします。

山中学校教育課指導主事

図画工作は、東京書籍、開隆堂出版、日本文教出版の3社のみが発行しており、この3社ともが選定されております。事務局としましては、開隆堂出版を原案としております。ご説明させていただきます。

まず、3社ともワイド版と同じでございますが、東京書籍につきましては、2学年を1冊にまとめているのに対し、他の2社は2学年を上・下の2冊に分けております。

1年生の創作活動を取り上げます。うすい黄色の付箋のページをお開きください。東京書籍は47、48ページ、開隆堂出版は1・2年の上の12、13ページ、日本文教出版は1・2年の上の12ページでございます。東京書籍は丸める、伸ばすという活動例を入れながら示されています。日本文教出版は、児童の吹き出しを入れ創作意欲を高める工夫がなされております。開隆堂出版は活動時の児童の手の動きでの留意点にも触れながら書かれています。また、児童の作品例が多く示されております。

次に各社の特徴でございます。ピンク色の付箋ページをご覧ください。東京書籍は、主な学習活動を見開きの右のページに示しているのが特徴でございます。これは、どこの学年をお開きいただいても、見開きの右のページに学習内容が示されています。開隆堂出版は、採択協議会、また調査研究協議会において特徴的だといわれたのが、表紙でございます。開隆堂出版の表紙には、校庭にあるものなど様々な材料を使って表題が示されているとともに、児童の作品が大きく配置されていて、児童の創作意欲を引き出す工夫がなされています。日本文教出版は、ピンクの付箋のページですが、学習活動の振り返りコーナーが設けられている。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、児童への詳しい説明、作品鑑賞における言語活動も踏まえた内容等、総合的に判断いたしまして、開隆堂出版が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

次ぎに家庭科についてご説明させていただきます。家庭科は、東京書籍、開隆堂出版の2社のみが発行しており、この2社ともが選定されております。事務局としましては、開隆堂出版を原案としております。ご説明させていただきます。

うすい黄色の付箋のページをお開きください。生活の見直しの扱いについてでございます。東京書籍は68ページから70ページまで、開隆堂出版は62ページから64ページまででございます。東京書籍は、児童の生活の見直しについて、児童自身の生活に視点を当てて学習を進める内容となっております。開隆堂出版は、児童自身の生活について見直すとともに、家族と共に過ごす時間をつくることについても触れられており、家族とのつながりを深める内容の工夫がなされております。

続いて、ゆで卵の調理についてでございます。黄緑色の付箋のページをお開きください。東京書籍は20ページ、開隆堂出版は10ページでございます。東京書籍は、卵の見分け方や電子レンジ使用における注意点にも触れながら学習の手順が示されております。開隆堂出版は、児童の安全を考えて包丁の取り扱い方に丁寧な説明がなされているとともに、チェック欄を設け、学習の振り返りを児童自らができるようになっております。また、開隆堂出版の12ページには、環境を考えた後片付けにつきましても1ページを使い分かりやすく説明されております。

また、各社の特徴ですが、東京書籍は、学習の手順を示す数字が見やすいことです。開隆堂出版は先ほどご説明いたしましたが、家族とのつながりを意識した記述が多く盛り込まれている点が特徴でございます。

以上のように2社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、家族とのつながりについても多く示されている点や児童の安全を考えた道具の丁寧な取り扱い方についての記述等、総合的に判断いたしまして、開隆堂出版が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

次に、保健でございます。保健は、文教社、光文書院、学研教育みらいの3社が選定されております。

す。事務局としましては、文教社を原案としております。ご説明させていただきます。

黄緑色の付箋のページをお開きください。5・6年生の「心の健康」の扱いでございます。光文書院は、自分の良いところを記入欄に書き込むようになっております。学研教育みらいでは、自分のよいところを書いたり、友達に自分のよいところを書いてもらったりするための記入欄が設けられております。文教社は、「友達のいいところ見つけ」を大きく取り上げております。また、友達に、自分のいいところを書いてもらうための記入欄が設けられておりまして、友達に認められることで、児童の自尊感情を高める、また、学習を通して友人関係を深める配慮も伺えます。

最後に、各社別の特徴でございますが、ピンク色の付箋で示しております。光文書院は、3・4年生の15ページや29ページのように「知っている？」というコーナーを設け、発展的な学習につなげていこうとしています。学研教育みらいは、3・4年生の6、7ページにおいて、記入欄を設けて生活リズムを振り返る工夫がなされております。文教社は、3・4年生の25ページに、「発てん」として「へそのお」という詩を取り上げ、家族とのつながりを考えさせる内容が入っております。このページを基に家族で会話が広がるような題材となっております。また、文教社の裏面には、教科書無償についても触れられております。

以上のように各社それぞれに特徴がございますが、事務局としましては、子どもたちの自尊感情を高めていこうとする配慮がなされている点、発展的な学習内容についても触れられている点等を総合的に判断いたしまして、文教社が高知市の子どもたちの実態により合っていると考えます。

以上、3種についてご検討ください。

委員長

まず、お手元を開いています保健で、ご意見はございませんか。

委員

感想ですが、心の健康に配慮されていると点は非常にいいと思います。それと、良いところを探そうという点ですね。

委員

文教社でいいますと、エイズの取り扱いですとか、災害の後のPTSDなど、そういうことがあるということが書かれているのが、大事な視点だと思います。

委員

文教社の保健の25ページに、「発てん」として「へそのお」という詩があるのですが、これが、今回の新学習指導要領で重視されている言語活動、保健指導における言語活動という捉え方をして良いものでしょうか。

山中学校教育課指導主事

言語活動は、ただ単に言葉だけでなく、友達とのかかわり、家族とのかかわりなど、より広いものを言語活動と捉えたときには、これも言語活動に含まれるものと考えます。

委員

例えば、へその緒が保健というのは分かりませんが、保健に詩があるというのは、今までなかったものとして、教科書の中に記述されるようになったというふうに理解してよろしいのでしょうか。

山中学校教育課指導主事

そのとおりでございます。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

保健については、事務局案のとおり文教社を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、保健については文教社を採択することに決しました。

次に、図画工作について、ご意見をお願いします。

委員

図画工作も、開隆堂出版は、絵本作家ですとか、作家の方の短文が載っていますが、これも言語活動といった文部科学省のねらいに沿ったものでしょうか。

山中学校教育課指導主事

そのとおりでございます。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

図画工作については、事務局案のとおり開隆堂出版を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、図画工作については、開隆堂出版を採択することに決しました。

最後に家庭科について、ご意見をお願いいたします。

委員

開隆堂出版は、包丁の使い方が分かりやすくいいですね。

委員

調理にしろ、初めての作業が大事にされているというふうに感じました。6年生で、「共生」ということが出てきますが、これは非常にいい言葉ですね。

委員長

ほかにご意見はございませんか。

特にないようですので、採決いたします。

家庭科については、事務局案のとおり開隆堂出版を採択することにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

委員長

ご異議なしと認めます。よって、家庭科については、開隆堂出版を採択することに決しました。

最後に、確認させていただきます。国語は東京書籍、書写は東京書籍、社会は教育出版、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は大日本図書、生活は東京書籍、音楽は教育出版、図画工作は開隆堂出版、家庭科は開隆堂出版、保健は文教社と、以上を採択することと決しました。

学校教育課長

ありがとうございました。

なお、家庭科と図画工作につきまして、家庭は5年生、6年生で使用しております、図画工作も1年生、2年生で使用しているということで、実はことしの10月に各市立小学校に「日本文教出版」の図画工作の下巻を1年生、3年生、5年生児童に配付することとなっております。家庭科につきましては、5年生、6年生の2か年分の「東京書籍」の教科書1冊を5年生児童に本年4月に配付し使用しております。

つきましては、来年度1年間の措置としまして、高知市の2年生、4年生、6年生の図画工作は今年度に引き続き「日本文教出版」を、6年生の家庭科は「東京書籍」を引き続き使用したいと考えます。その点、よろしいでしょうか。

委員

現在使われている教科書とは違う教科書が採択されたということですね。

学校教育課長

そうです。その2種が、現在使用の教科書と異なるためでございます。

委員

ほかの教科書は、どうですか。

学校教育課長

ほかにはございません。

委員長

この2種は、移行期間があるということですね。

よろしいでしょうか。

委員一同

【異議なし】

委員長

本日の議事日程はすべて終了いたしました。これで、教育委員会を閉会します。

閉会 午前11時23分

署名

委員長

3番委員